人生会議(ACP)と心肺蘇生等を望まない意思について

人生会議(ACP)とは、人生の最終段階(がん末期や老衰など、疾病等の末期状態にあり、適切な治療を受けても回復の見込みがない方)において、ご本人を中心にどこでどのような医療やケアを望むかを前もって周囲の信頼できる人たちと繰り返し話し合い、共有しておくことです。

もしものとき、ご本人の意向をくみ取るためには、医療・ケアチームからご本人やご家族等へ心身の状態や今後の見通し等の適切な情報提供と説明がなされることが重要です。

「自宅や施設での看取りを希望する」意思表示が行われている場合のイメージ

心肺蘇生を望まない方の心臓と呼吸が止まる → ご家族・職員等が発見 → → かかりつけ医や訪問看護師に連絡 → かかりつけ医が死亡確認 → ご自宅や高齢者施設等での看取り → ご本人の意思に沿った最期

人生の最終段階にあり、ACP(人生会議)を通して「心肺蘇生等を希望しない」意思決定をしている方の心臓と呼吸が止まった時には**119番通報はしないで**、かかりつけ医や訪問看護師など、**事前に決めておいた連絡先に連絡**してください。

誤って119番した場合に備え、下記の項目ついて記載し、意思表示をしておくことで救急隊はガイドラインを基にご本人の意思に沿った対応を行うことができます。

心臓と呼吸が止まった時の心肺蘇生等の希望について	□ 私は心肺蘇生等を希望します。 ※下記の書面の作成は不要です。	□ 私は心肺蘇生等を希望しません。 ※下記の書面を作成してください。

ご本人の意思表示

私は、家族やかかりつけ医と今後の治療方針について十分話し合いを行ったうえで、心臓や呼吸が止まった時には救命処置は希望せず、看取りをしてもらいたい意思があるため、心肺蘇生等は実施しないでください。

ご本人署名　記入日　　年　　月　　日

(直筆)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(代筆者)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご家族代表者署名　記入日　　年　　月　　日

(直筆)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(続柄)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

かかりつけ医からの指示

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ さまが、心肺停止となった場合、人生会議(ACP)によって選択された「心肺蘇生等を受けない」意思決定を尊重し、心肺蘇生等は実施しないでください。

なお、この指示にあたっては標準的な医療水準等を考慮し、ご本人、ご家族及び他の専門職医療従事者の間で十分話し合いを行ったうえで、意思決定についての合意が行われています。

かかりつけ医署名 記入日　　年　　月　　日

(直筆)＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

かかりつけ医の医療機関名

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

かかりつけ医連絡先(または訪問看護師等の連絡先)

－　　－

上記連絡先の機関名(かかりつけ医以外の連絡先記載時)

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿